

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	花園保育園	施設種別	保育所
評価機関名	きょうと福祉ネットワーク 一期一会		

平成20年2月1日

総 評	<p>当園は、保育士関連の研修を精力的に企画・実施される等、福知山市域の保育・実践におけるリーダー的存在であると共に、保育実践者の質の向上にむけた取り組みや利用者（保護者）の特殊性に配慮した活動は地域のパイオニアとしての役割を果たされています。</p> <p>その原動力となる園長の豊かな保育経験とリーダーシップ、現場での姿勢から、現在の花園保育園が提供するサービスの質の高さを伺い知ることができました。保育士の職場満足度も高く、充実した保育実践がなされていることが職員アンケートや聞き取り調査からも読み取ることができます。調査時にもスタッフが一丸となって評価に取り組まれた姿を拝察することができ、非常に効果的な調査となりました。</p> <p>今後は、現在のような高い保育サービスを持続可能なものとするために、園長のリーダーシップだけに依拠することがないように、サービスの質に対するシステム化や取り組みへの工夫がより一層求められます。今後の更なる取り組みに期待します。</p>
特に良かった点 (※)	<p>Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に対応している。</p> <p>地域の要職に積極的に就かれ、保育環境を適切に把握すると共に、計画的に施設の拡張修繕が行われ、中長期計画が着実に具体化されている。</p> <p>Ⅱ-4-(1) ① 地域とのかかわりを大切にしている。</p> <p>地域での活動の機会が多く、多彩な催し（老人会、幼稚園、廃品回収、児童館運動会、お楽しみ会、散歩プログラム等）が実施されているため、子ども達は自然な形で地域に親しみ、交流が図られている。</p> <p>A-1-(3・4) 日常生活支援</p> <p>清潔な環境と受容的な関わりに対する評価が高い。園全体の清掃や整理整頓が行き届いており、清潔な環境が保たれている。また、保育士の子ども達への接し方についても、保護者からの評価が高い。</p>
特に改善が 望まれる点 (※)	<p>Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</p> <p>人材育成のためのシステムが十分整っていない。保育の質の向上にむけた研修は精力的に実施されているが、その方針は明文化されておらず、計画の文書化が整っていない。人材育成に関するプログラムを確立し、園全体としての共有化が必要である。</p> <p>Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。</p> <p>個別の指導計画の作成・見直しが十分行っていない。注意の必要なこどもに指導が偏りがちであるが、保育の質の向上にむけた一人ひとりの指導計画について、気づきと再検討を実施することが重要であり、指導計画の評価、見直しのための手順、その周知方法などについてもマニュアル化し、組織内での共通理解を図る工夫が必要とされる。</p> <p>A-2-(1) 入所児童の保護者育児支援</p> <p>懇談会や個別面談などの機会が少ない。日常的なやり取りの中で、子育て支援や相談対応は行われているが、埋もれがちな保護者の意見を積極的に引き出し、保育に反映させるために懇談会や個別の面談などの機会を設定すること等が求められる。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	花園保育園
施設種別	保育園
評価機関名	きょうと福祉ネットワーク 一期一会
訪問調査日	平成19年12月5日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-1(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-1(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	B	B
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	B	B
I-2 計画の策定	I-2-1(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	非該当	
	I-2-1(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。	非該当	
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	B	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	A
	I-3-1(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮して	B	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	A

【自由記述欄】

I-1 理念や基本方針は明文化され、職員や利用者等に配布はされているが、利用者等への周知が弱く、継続的な取り組みが求められる。

I-2 事業計画は職員の参画により策定されているが、利用者(保護者)の意見を反映させるまでには至っていない。一方的に伝えるだけでなく、説明や意見聴取の機会の設定が望まれる。

I-3 園内には管理者の保育における基本姿勢が、わかりやすい文章で掲示され、環境整備も自ら率先して行っておられる様子が伺えた。その姿勢が自然と職員間に浸透しており、園内の整った環境や保育士の対応に対する高い評価につながっている。また園内だけでなく、福知山市においてもリーダーとして活動してこられ、地域の福祉ニーズを的確に把握しながら、将来の構想を持って経営にあたっておられる。今後は客観的な評価・分析や継続性が求められる。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	B
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C	C
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	B	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	C	C
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	C	C
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	B	B
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	B	B
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	B
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	C	C
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	A	A
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	B	A
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		B	A	

【自由記述欄】

II-1 地域の現状が適確に把握されており、将来の構想を持っておられる。
 II-2 人材確保が難しく、計画的な採用等は困難ではあるが、現職員は勤続年数の長い方が多く、質の向上のための研修等にも参加されている。また働きやすい職場としての評価も高い。今後は計画的な人材養成と、その成果についての定期的な評価・見直しを行っていただきたい。人事考課はCと評価しているが、人事異動・給与査定等は行っていないという点において非該当とするのが適切である。
 II-3 マニュアルが整備され、カメラや赤外線による防犯システム等も設置されているが、保護者への周知の点では不十分さが感じられる。保護者への説明の機会を設け、信頼の向上につなげていただきたい。
 II-4 長年の実践から、地域との関わりも深く、就労形態や家族構成の変化(一人親家庭の増加等)などの福祉ニーズに応じて、保育時間やクラス編成等も検討されている。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-1 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	B	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B	A	
	Ⅲ-1-2 利用者の満足度の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	B	B	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	B	A	
	Ⅲ-1-3 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	B	B	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	C	B	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-1 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	C	B
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	C	B
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			C	B	
Ⅲ-2-2 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	C	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	C	A	
Ⅲ-2-3 サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	B	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	B	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B	B	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-1 サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	A
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		B	B	
	Ⅲ-3-2 サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	B	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-1 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	B	B	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	B	B	
	Ⅲ-4-2 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	C	B	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	C	B	

【自由記述欄】

Ⅲ-1 各マニュアルが整備されており、苦情解決の内容は書面で残され、保護者へのフィードバックが行われている。保護者からの意見は、行事の後のアンケートや日常のやり取りの中で聞いておられるが、クラスごとの懇談会や個別の相談対応なども求められている。

Ⅲ-2 各行事ごとに職員会議でPDCAサイクルによる検討が行われており、個々のサービスの実施方法についても全てマニュアルがあり、必要に応じて見直しが行われている。

Ⅲ-4 1～4歳児については一人ひとりの保育のねらいが設定されているが、5歳児についてはクラス目標のみとなっている。保育の質の向上のためには、クラス目標だけでなく、一人ひとりの指導計画について、常にPDCAサイクルを実施することが重要であり、評価・見直しのための手順やその周知方法など組織的な統一が必要である。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

受診施設名	花園保育園
施設種別	保育園
評価機関名	きょうと福祉ネットワーク 一期一会
訪問調査日	平成19年12月5日

【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	B	B
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	C	B
	(2) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	B	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	B	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	B	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

【自由記述欄】

A-1-(1) 指導計画は月1回見直しが行われ、次の計画に生かされている。
A-1-(2) 健康管理のためのマニュアルが整備され、体調の優れない子への配慮や家庭との連携も行われている。歯科検診の結果を受けて、フッ素洗口やお茶うがいなど予防的な取り組みも行われている。食事については嗜好調査や残渣調査(毎日)が行われ、献立に生かされている。また手作り野菜を使ったメニューやバーベキュー・焼き芋、テラスでの食事など、食を楽しむ取り組みが行われている。アレルギーのある子どもには、専門医と連携し除去食を提供している。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	B
	(4) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	B	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	B	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	B
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	B	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	B	B
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	B		

【自由記述欄】

A-1-(3) 建築年数が経っており手狭であるため、一人ひとりのためのスペースは確保しにくいですが、工夫を凝らし改善工事を重ねることで環境の整備がすすめられている。トイレや手洗いも子ども達の発達に合わせたものが設置されており、園全体が清潔に清掃され、整理整頓も行き届いている。

A-1-(4) 広さの問題があり、好きな遊びができるコーナーまでは設置できないが、自由に遊べる素材や用具が整えられ、貸出し用の図書コーナーなども設けられている。近隣への散歩や隣接する児童館を活用し、活動の場を広げる取り組みが日常的に行われており、自然と地域とのかかわりも深くなっている。保育士の子ども達への接し方については、保護者からの評価が高い。外国籍の保護者には、必要に応じて連絡帳をひらがなで記載するなど配慮がなされている。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	B	B
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	C	B
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2)一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	
	A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A
② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている			A	A
③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている			非該当	
④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている			非該当	
⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている			非該当	

【自由記述欄】

A-2 参観や日常的な情報交換の場で子育てについての相談などに応じてはいるが、懇談会や個別相談の機会までは設けられていない。